



内部監査の品質評価 (QAR) サービス

内部監査部門の有効性を確認し、監査の品質向上と改善への提案を通じて、経営に資する監査の実現を支援します。

近年、企業が直面する経営環境の激変や不祥事の多発などにより、内部監査部門に対する期待は、ますます高まっています。

会社法による内部統制システム構築の要請、金融商品取引法による財務報告に係る内部統制評価の要請、金融当局の要請など、内部監査の対応すべき範囲も広がっています。これらの中で、内部監査部門の有効性を確認する「内部監査の品質評価」への関心が高まっています。

プロティビティは、単なる内部監査基準への適合性評価にとどまらず、付加価値を生む内部監査の構築・高度化をめざす企業の課題設定・改善方針に貢献する実務的な品質評価プログラムを提供しています。

プロティビティの品質評価プログラムは、グローバルに統一されたアプローチと品質により、内部監査の理論と実践を備えた専門家として認定されたメンバーを含むチームにより実施され、内部監査コミュニティにおいて高く評価されています。

※ Accreditation in Quality Assessment and Validation by Institute of Internal Auditors

ご参考

IIA 基準では、内部監査の品質評価について以下のとおり規定しており、品質のアシュアランスと改善のプログラムの作成・維持は内部監査部門長の責任とされています。

基準 1300 – 品質のアシュアランスと改善のプログラム

内部監査部門長は、内部監査部門を取り巻くすべての要素を網羅する品質のアシュアランスと改善のプログラムを作成し

品質評価とは

品質評価は、以下を主な目的としており、「内部評価」と「外部評価」に分類することが出来ます。

- 内部監査活動の有効性の評価
- 内部監査人協会 (IIA) の内部監査の専門職的実施の国際基準 (以下、IIA 基準という) の適合性についての評価
- ベストプラクティスを参考にした改善の機会の提供

内部評価

社内 (内部監査部門を含む) で行う内部監査部門の評価であり、内部監査部門自らにより日常的に行われる「継続的モニタリング」と、内部監査の定義、倫理綱要および内部監査の基準への適合性を評価する「定期的レビュー」があります。

外部評価

組織体外の独立した内部監査の専門職的実施と外部評価プロセスのスキルを有した適格者により実施される評価です。IIA 基準は、最低でも 5 年に 1 度は、外部評価を実施することを求めています。さらに、この外部評価には、内部評価の結果を独立的な立場で検証するもの (自己評価と独立した検証) と、外部評価者が内部監査のレビューを直接行い評価するもの (フル外部評価) との 2 つの方法があります。

維持しなければならない。

解釈指針：

品質のアシュアランスと改善のプログラムは、内部監査部門の内部監査の定義や基準への適合性の評価や、内部監査人が倫理綱要を適用しているか否かの評価ができるように設計されている。そのプログラムはまた、内部監査部門の効率性と有効性を評価し、かつ改善の機会を明らかにする。

プロテビティの品質評価サービスの概要

内部監査の外部評価（「独立した検証を伴う自己評価」支援を含む）内部監査実務と外部評価プロセスに精通するプロテビティのコンサルタントが、IIA基準への適合性を評価します。IIAの定める正式な外部評価プログラムであり、「『内部監査の専門職的実施の国際基準』に適合して実施した」と表明するために必要な評価報告書を作成します。

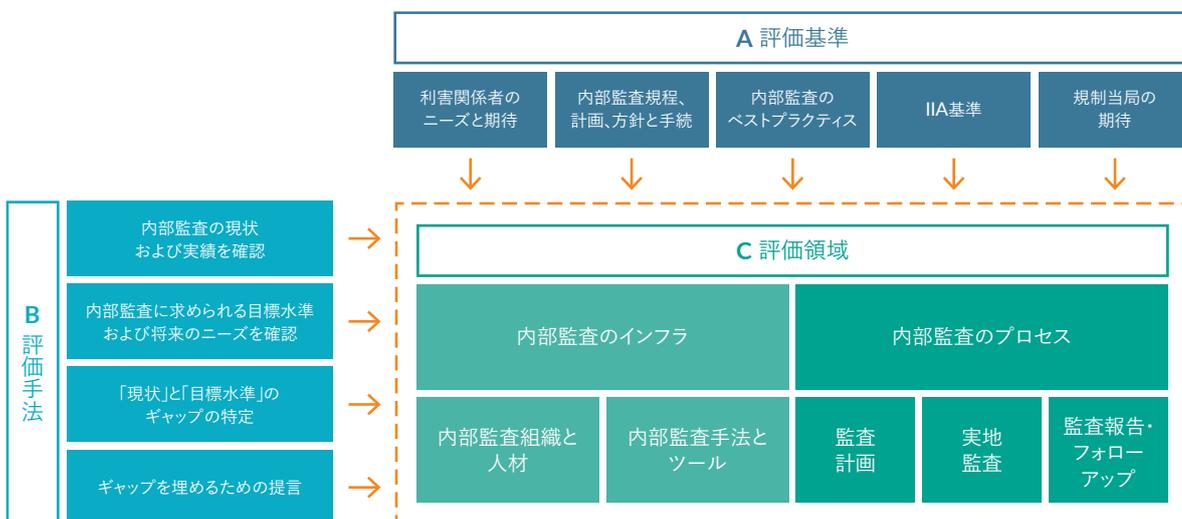
IIA基準への適合性だけでなく内部監査の有効性や効率性に焦点をあて、貴社の内部監査の品質向上に向けた提言（改善の機会の提供）に注力することが特徴です。IIAの「品質評価マニュアル・ツール」と日本内部監査協会の「内部監査品質評価ガイド」に基づく評価を実施します。

プロテビティの提供する手法とアプローチの概要

品質評価におけるプロテビティのアプローチは、IIAの基準の要請をすべて満たすものであり、内部監査に係る全範囲を評価したいという企業に適したものです。内部監査に対するステークホルダーや監督当局の期待とのギャップの分析、さらには、内部監査のベストプラクティスの観点からの

提言も行います。

下の図は、「IIA基準」「利害関係者のニーズと期待」等の評価基準(A)に基づき、「評価手法」(B)を適用し、「目的と組織」「資源と能力」等の評価領域(C)に対し、内部監査の品質評価を実施する我々のアプローチの概要です。



プロテビティの品質評価サービスの特長

内部監査を専門とするコンサルタントに加え、業界動向に精通するプロフェッショナルをメンバーとした体制で品質評価サービスを提供します。

グローバルなデータベースとのベンチマーク分析や、他社におけるベストプラクティスとの比較を通じて、業界とのギャップを明らかにします。



リスクマネジメント、内部統制、内部監査を専門としたグローバルファームとして培った内部監査のベストプラクティスをグローバルで共有し、さまざまな内部監査のご支援や品質評価に活用しています。

米国をはじめ、各国で多くの外部品質評価の実績を持ち、グローバルで採用されているベストプラクティスを踏まえたアドバイスを提供しています。

内部監査態勢評価を通して内部監査態勢の改善提言だけでなく、その後のアクション(改善計画の導入)までアドバイスします。

プロテビティについて

プロテビティは、企業のリーダーが自信をもって未来に立ち向かうために、高い専門性と客観性のある洞察力や、お客様ごとに的確なアプローチを提供し、ゆるぎない最善の連携を約束するグローバルコンサルティングファームです。25ヶ国、85を超える拠点で、プロテビティとそのメンバーファームはクライアントに、ガバナンス、リスク、内部監査、経理財務、テクノロジー、デジタル、オペレーション、データ分析におけるコンサルティングサービスを提供しています。プロテビティは、米国フォーチュン誌の2022年動きがいのある会社ベスト100に選出され、Fortune 100の80%以上、Fortune 500の約80%の企業にサービスを提供しています。また、成長著しい中小企業や、上場を目指している企業、政府機関等も支援しています。プロテビティは、1948年に設立され現在S&P500の一社であるRobert Half International (RHI)の100%子会社です。

プロテビティLLC protiviti.jp

〒100-0004 東京都千代田区大手町 2-6-4 TOKYO TORCH 常盤橋タワー 24F Tel. 03-4577-3980
 〒530-0001 大阪府北区梅田 2-2-2 ヒルトンプラザウエストオフィスタワー 18F Tel. 06-6450-9367

Protiviti, Protivitiロゴは、Protiviti Inc. の米国ならびにその他の国における商標または登録商標です。その他の記載されている会社名・製品名は各社の登録商標です。

PJ2208

protiviti®